



公民館館報

# いんぎらあと

公民館館報 第58号  
西南部公民館

編集 広報部  
TEL 240-8860 FAX 240-8960  
(E-mail)  
seinanbu-k@spacelan.ne.jp



## ■CONTENTS

- 社会体育大会、文化祭
- 校下防災訓練、遺跡巡りツアー
- 市民ソフトバレーボール大会
- お楽しみバスツアー
- 特ダネ西南部





**見せろ団結!**  
**掴みとれ栄冠!**  
**力の限り全力で!**  
 平成28年10月2日(日)  
**社会体育大会**

10月2日(日)、西南部小学校運動場にて社会体育大会が開催されました。秋晴れの中、各町会から集まった幼児から60歳以上の沢山の人間による熱戦が繰り広げられました。笑顔あふれる交流が広がり、日頃運動不足の人も頑張って、とても充実した大会になりました。(田中久子)





激闘！接戦！  
二町会同点優勝！！

「町内のコミュニケーション」と「町内同志の親睦」を目的とし… 社会体育大会における主催者や来賓の挨拶で繰り返される言葉です。

今回の当町会の参加人数は過去最高を記録し、その結果テント内で多くの情報が飛び交いました。「〇〇さんは昔100mを12秒で走ったそうだ。」「〇〇さんの子供は11秒フラットって言ってたよ。フラットってなに?」「〇〇さんは競技綱引きの選手だったそうだ。」と、町会長が知らない情報がどんどん出てきます。さらに、「今走っている娘さんは誰?」「今、町会長と話をしていたのはどこの奥さん?」コミュニケーションが尽きないのも、公民館役員の苦勞のおかげと感謝しています。

余談ですが今年度、八日市出町のイベント、打ち上げや祭などでのビールの消費が缶ビール換算で例年より150本増加しています。これこそが「コミュニケーション」と「親睦」が進んでいる証し。

会計担当者の経費のやりくりを尻目に、ビール消費の増加を喜んでいる町会長です。



八日市出町町会長 西田 敦志

昨年は最後の総合リレーで逆転されての準優勝。今年は、リベンジに挑みました。大会1週間前には公民館前の芝生広場で、各種目の練習を行っています。その成果もあり、水入れ、女子むかで、ナイスインワンで勝利。しかし、綱引き、男子むかでは惜敗。

隣のテントで三連覇に挑む強豪八日市出町と同点で最後の総合リレーを迎えることとなりました。A組とB組に分かれた両町会が勝利し、同点での二町会ダブル優勝は平成21年以来2回目となりました。そのときも、八日市出町と優勝を分け合いました。

昭和59年以来31回を数える社会体育大会の歴史の中で、我が町会は14回の優勝(うち4連覇2回を誇り)。常勝町会と言われていたのですが、今年は平成23年以来5年ぶりの栄冠となりました。私が、町会長になった3年前の6位から昨年2位、今回優勝出来て率直なところホッとしています。

さいごに、山本新体育部長、子供会の越野代表、青年会、壮年会、女性会の協力と出場して頂いた選手の皆さんに心より感謝申し上げます。そして、テントから町会一丸となって応援いただいたみなさまに重ねて御礼申し上げます。



西金沢四丁目町会町会長 小木 孝一郎

酒代にみる町内親睦度

5年ぶりの優勝



# 好奇心の数だけ、 創造力が磨かれる!!



# ～芸術・食・スポーツが一挙集結!～

文  
化  
祭



文化祭を終えて

文化教養部長

松山誠志(八日市出町東)



一〇月二十九日(土)、三〇日(日)に西南部公民館の文化祭が開催されました。前日まで雨が続き、当日の天候を心配していましたが期間中は天候が回復。野外イベントがおこなわれた三〇日は、風が強く肌寒さも感じましたが、青空が広がる絶好の文化祭日和になりました。

今年の文化祭のテーマは「好奇心の数だけ創造力が磨かれる」芸術・食・スポーツが一挙集結。毎年のように足を運んで下さる方々はもちろん、近年増加傾向にある若いご家族連れや子ども達にも楽しんで帰ってほしい。その思いで公民館では文化教養部を中心に「色々な『体験』ができる文化祭」を念頭に企画・準備をしております。ご好評を頂いた企画もあれば、課題が残る企画もありましたが、約一二〇〇人もの方々にご来場頂き、子供達の笑顔もたくさん見られたので、とても良い文化祭になったのではないかと思います。

最後に、ご来場いただきました方々、作品出展・ステージ出演頂きました方々、ご協力・ご参加いただきました各団体の方々に心より御礼申し上げます。

ありがとうございました。



校下防災訓練

避難所運営ゲーム

(HUG)を行って

防災委員長

加藤俊一(八日市出町東)

大規模災害時には避難所が開設・設置されます。ただその時には、誰かが何とかしてくれるものと思っておりました。ところが関係者自身が被災したり、関係者の手が回らないことなど地域住民や避難者自身が避難所の運営を行うことも多い事を知りました。西南部校下では小学校が拠点避難所になっています。そこで今年度の校下防災訓練は避難所運営ゲーム(HUG)を行うことになりました。

金沢市危機管理課の方の指導の元、第2回防災委員会を行い、各町会の代表の方々に事前体験をしてもらい準備を行いました。

訓練当日、最初のうちは「進行役の声が聞き取れない」「解らないのにドンドン進められては困る」等の苦情が寄せられ、私自身実際の避難所のミニ体験をしているような気持ちになりました。しばらくすると、参加者の方々も要領を得て真剣に取り組んでいただけるようになり、



ゲーム終了後の意見交換では的確な意見も出るようになりました。

訓練終了後「おもしろかった」「勉強になった」との声をかけてもらい安堵しました。

今回の訓練参加人数は当初の予定を大きく上回る163名。指導して下さった金沢市の方も「こんな大人数は初めてでした」との事でした。

防災訓練を無事終え関係者の方々・訓練に参加していただきました各町会の皆様に篤くお礼を申し上げます。





# 遺跡巡りツアー フォッサマグナと長者ヶ原遺跡

八月二十七日、遺跡巡りツアーが行われました。今回は「ヒスイのふるさと」糸魚川に行ってきました。糸魚川は世界ジオパークに認定された地域で、地質から生物・歴史・文化まで幅広い見所のあるところでした。

最初に訪れたフォッサマグナミュージアムでは、日本列島の成り立ちを興味深く学習することができました。糸魚川は日本列島の成り立ちに深く関わった場所らしく、様々な年代の岩石が出土しています。その中の一つがヒスイです。ミュージアムには当地で採集されたヒスイを始め、世界中から様々な鉱石が集められ、充実した展示を楽しみました。長者ヶ原考古館では、チカモリ遺跡と同じ



縄文時代の遺跡「長者ヶ原遺跡」を中心に糸魚川の遺跡から出土品が展示されています。当時からヒスイの加工が行われていて、現代のような道具のない時代に、硬いヒスイに穴を開け加工する技術には驚かされました。教科書で習ったフォッサマグナの一方の断面である糸魚川―静岡構造線の見学では、遙か昔から今なお続く大地の営みの一端を見ることができました。

最後にヒスイ海岸でヒスイを探しました。参加した皆さんは、見つけた石を「これこそヒスイ」と信じて思い思いの石を持ち帰りました。

(協坂弘明)



## 市民ソフトバレーボール大会



十月十六日、金沢市総合体育館で市民ソフトバレーボール大会が行われました。「西南部」からは西南部ソフトバレーボールクラブから四十年代チーム五十代チームの二チームが参加しました。予選リーグを戦い、上位チームが決勝トーナメントに進出します。残念ながら西南部から参加した二チームは決勝トーナメントに進出できませんでした。選手の皆さんお疲れ様でした。(協坂弘明)

### 選手名簿

#### 〔Aチーム〕

- 長田 豊(新保本)
- 福田 桂(八日市出町)
- 三浦道子(新保本第3)
- 喜田路代(新保本)
- 坂本貞子(古府南第1)

#### 〔Bチーム〕

- 横西政明(西金沢新町東)
- 犬嶋健一(西金沢丁目)
- 村田利弥(新保本第3)
- 黒田由美子(西金沢3丁目)
- 大橋利美(新保本第3)
- 杉森久美子(新保本第2)







文化教養部副部長

中社 圭(新保本)



初めて参加をさせて頂き、いただいた「お楽しみバスツアー」。今回の行先は、彦根城と京都鉄道博物館でした。約四〇〇年前に建てられた彦根城の天守閣は、国宝に指定されています。攻めてくる敵を突き落とせる六十二度の急角度の天守の階段を最上階へと上っていくと、琵琶湖と彦根の町並みや山々を四方より望むことができました。紅葉シーズンで彦



根城の白い壁も美しく映えていました。旧大名庭園の玄宮園においても紅葉が見事で、彦根城と紅葉の美しい景色が園内の池に鏡のように映っていたのがとても印象的でした。昼食の後は京都市内に入り、次の目的地である京都鉄道博物館へ。鉄道が大好きな私は、今回のバスツアーの中でここを訪れるのを一番の楽しみにしていました。到着して館内へ入場した瞬間に「鉄ちゃん魂」で体がアツくなりました。

日本最大規模の鉄道博物館だけあって、日本最古の蒸気機関車をはじめ、近年まで活躍していたトワイライトエクスプレスなど数多くの鉄



道車両が展示されており、一日もあつという間ではないかと感じるくらいです。

その中でも私が気に入ったのは博物館屋上の展望スペース「スカイテラス」です。京都鉄道博物館は、東海道新幹線や在来線沿いにあるので、この「スカイテラス」からは新幹線や特急列車などいろんな列車が行き交う様子を眺めることができます。新幹線と特急列車や新快速が併走していく様子は、まるで鉄道模型の巨大ジオラマをみているような感覚で、この場をなかなか離れられませんでした。

今回のバスツアーでは、彦根城において歴史を学びながら美しい景色を楽しみ、京都鉄道博物館において、鉄道の歴史と技術を学び、そして私自身の趣味としても楽しむこと

ができました。またバス車内や各所において、ご一緒した方々とも楽しくお話することができ、地域の皆さんとも仲良くなれる充実した一日でした。そして、私自身も楽しかったです。参加された皆様がとても楽しんでいらっしやる様子を見て、お楽しみバスツアーを企画した文化教養部の一員として、とても嬉しかったです。

# 募集

## 太極拳無料体験

一緒に始めませんか! 3回の体験会を行います。動きやすい服装でお越しください。

- 1月17日(火曜日)
- 2月 7日(火曜日)
- 2月21日(火曜日)



公民館2階大ホール 19:00~20:00  
他の教室も随時体験できます。

## 公民館の図書室でも本が借りれます!!

どうぞご利用下さい

★年に3回玉川図書館から200冊入替しています。



くわしくは窓口まで!



# 特ダネ 西南部

## 西南部小学校 校区たんけん



十一月三十日、西南部小学校二年生二十九名が、地域学習のため公民館を訪問しました。地域の中での公民館の役割について学習しました。



# 金沢マラソン



十月二十三日(日)第二回金沢マラソンが開催されました。

スタートの広坂通りからゴールの石川県西部緑地公園陸上競技場まで。「金沢を丸ごと走る」をキャッチフレーズとして「中心市街地」「歴史的景観」「新動脈・山側幹線」「学生のみち文教」「旧街道まちなみ」「白山連峰を望む田園」「駅西新都心」の七つのゾーンに分けられた計42・195キロの道のりを13,265人のランナーが健脚を競いました。当日は五輪連続メダリストの松本薫さんを始め、谷口浩美さん、エリック・ワイナイナさん、衆議院議員の馳浩さんなど、多彩なゲストランナーが大会に華を添えてくれました。

西南部地区からもたくさんさんの健脚自慢が参加しました。またゴール近

くのコース沿道に設けられた応援スポットではチカモリ太鼓の演奏でランナーを盛り立てました。



## 「初マラソンが 金沢マラソンで良かった」

新田盾也(古府南第二)

今まで趣味程度のランニングをしていましたが、本格的に練習を始めたのは金沢マラソンの抽選が通ってからでした。私の目標は歩かないで4・5時間切り。当日薄曇りのマラソン日和の中スタート。沢山のランナーと一緒に走ると、思った以上に身体が軽く感じます。途切れることのない沿道の応援も華やかで元気をもらい、エイドではどら焼き、カツカレー、ぶどう等色々なものを食べ力が湧いてきます。

楽しみながら軽快に走っていましたが、30キロ過ぎから足が重く、やっと前に進んでいくようになり、とうとう残り10キロ切ったあたりで足が攣り、歩き始めてしまいました。こ

のままゴールまで歩いてしまうのかと思いましたが、沿道の応援の皆さんとのハイタッチに力をもらい、ゆっくりと走りだしました。友人も沢山出場しており、歩いている友人と丁度私が走っている時に出会えたのはラッキーでした。

ゴール前にはお手製の団扇など応援グッズを持った地域の方々の皆様の応援もあり、最後は力強く走りゴールすることができました。

目標の『歩かない』は達成できませんでした。タイムをなんとか達成できたのは、地元金沢の沢山の声援のおかげだと思います。



## 【編集後記】

今年も地震の多い年でした。震度五以上の地震だけでも青森、北海道、熊本、大分、茨城、沖縄、鳥取、福島と全国に及んでいます。金沢も森本富樫というSクラスの活断層を抱え、いつ大きな地震が起こるか分からないと言われています。二〇一七年も平穏な年であるように祈るばかりです。

(脇坂弘明)